

CohesityのVMware Cloud on AWS

VMware Cloud on AWSによるバックアップとディザスタリカバリ

VMwareは長年にわたり企業向けITサービスをリードしています。このたび、VMware Cloud on AWSがそのサービスに加わったことにより、VMwareのユーザーはクラウドでの作業を簡単に行えるようになりました。VMware Cloud on AWSでは複雑さが軽減し、クラウド用にツールを変える必要もありません。さらに、信頼性の高いディザスタリカバリ先としてクラウドを利用できます。採用が進むにつれ、ハイブリッドクラウドを十分に活用するため、ユーザーは既存のVMware Cloud VMをバックアップする最適な方法と、オンプレミスのVMware環境に再統合する方法を検討する必要が生じてきました。

CohesityはVMware Cloud on AWS上で動作し、VMware環境全体を通じて、一貫した最新のバックアップおよびデータ管理を実現します。Cohesityが提供する単一プラットフォームにおいて、クラウドとオンプレミスを通じてデータサイロとインフラストラクチャサイロを統合します。これにより、[マスメータ断片化](#)の問題に統合的に対処できます。



COHESITYのVMWARE CLOUD ON AWSの使用目的

VMware Cloud VMのバックアップ：オンプレミスVMwareで使用しているものと同じポリシーベースのバックアップを、クラウド内でも使用します。あらゆる規模のクラウド環境に向けて構築されたWebスケールのソフトウェアにより、高速バックアップと即時復元のためのスケールアウトパフォーマンスを提供します。

AWS上で長期保持：VMware CloudからAmazon S3に、バックアップデータをポリシーベースでアーカイブします。出力料金はありません。クラス最高のスペース効率により、クラウド内のクラスター、ストレージ、データ転送のコストを削減します。

VM/フォルダー/ファイルのリカバリ：必要なVM、フォルダー、またはファイルを高速でグローバル検索し、いかなる時点や場所からでも迅速に復元して、バックアップ、アーカイブ、またはレプリケーションに保管します。

ハイブリッドクラウドのディザスタリカバリ：VMware Cloudを、オンプレミスのVMwareインフラストラクチャの復元ターゲットとして使用します。ディザスタ時はその逆も可能です。Cohesityのレプリケーションとオーケストレーションにより、VMを高速作動させ、フェールオーバーとフェールバックをシームレスに実行します。

主な特徴

クラウドのために設計、VMwareのために最適化

- Webスケールやソフトウェア定義のアーキテクチャを、VMware Cloud上で直接展開します。
- ネイティブAWSに、グローバルな重複排除と圧縮を統合することにより、効率を向上し、クラウドコストを削減します。
- VMware vSphere、vCenter、vRealize Suite、vSANと包括的に統合できます。

どんな場所でもVMwareデータを保護および管理

- 単一プラットフォームにより、ハイブリッドクラウドを介して、VMware環境全体でデータを保護、統合、管理します。
- VMware Cloud上でバックアップ、長期保持、ディザスタリカバリが可能。どこでも復旧できます。
- インスタントグローバル検索はコンプライアンスに対応。必要なVM、フォルダー、またはファイルの検出および迅速な復元をサポートします。

ハイブリッドクラウドを介した一貫性のあるエクスペリエンス

- 使い慣れたものと同じVMwareツールとシームレスに統合するため、生産性を維持できます。
- Cohesity Heliosによる統合データ管理。ハイブリッドクラウド全体でデータを表示し、管理できます。
- VMワークロードの自動化とオーケストレーションを実現。ハイブリッドクラウドワークロードのモビリティを向上します。

詳しくは、<https://www.cohesity.com/solution/virtual/vmware/>および<https://kb.vmware.com/s/article/70921>をご覧ください